

科目名	年度	レポート番号	クラス	学籍番号	名前
API 実習	2023	4	A	20122058	南波光希

レポート(5)で開発する API を使ったシステムについて企画、要件定義を行ってください。ページ数や文字数よりも、読んでわかりやすく書けているかどうか、点数アップの分かれ目です。本レポートにおける要件定義項目は、本来の要件定義項目から抜粋した簡易な内容になっています。

種別（API 開発 + アプリ開発なのか、API 連携からのサービス開発なのか識別するため必須）

どちらかに○をつけること

独自 API 開発 / API 連携○

業務要件

概要

Forms に新しいデータが入力されたら、teams の自分のチャンネルに forms の内容と通知が来る

背景

どんな API を使うか悩んでいたところ、身の回りに API を利用できるポイントが多くあるとアドバイスをもらい、この API 連携ができれば便利だと考えたため

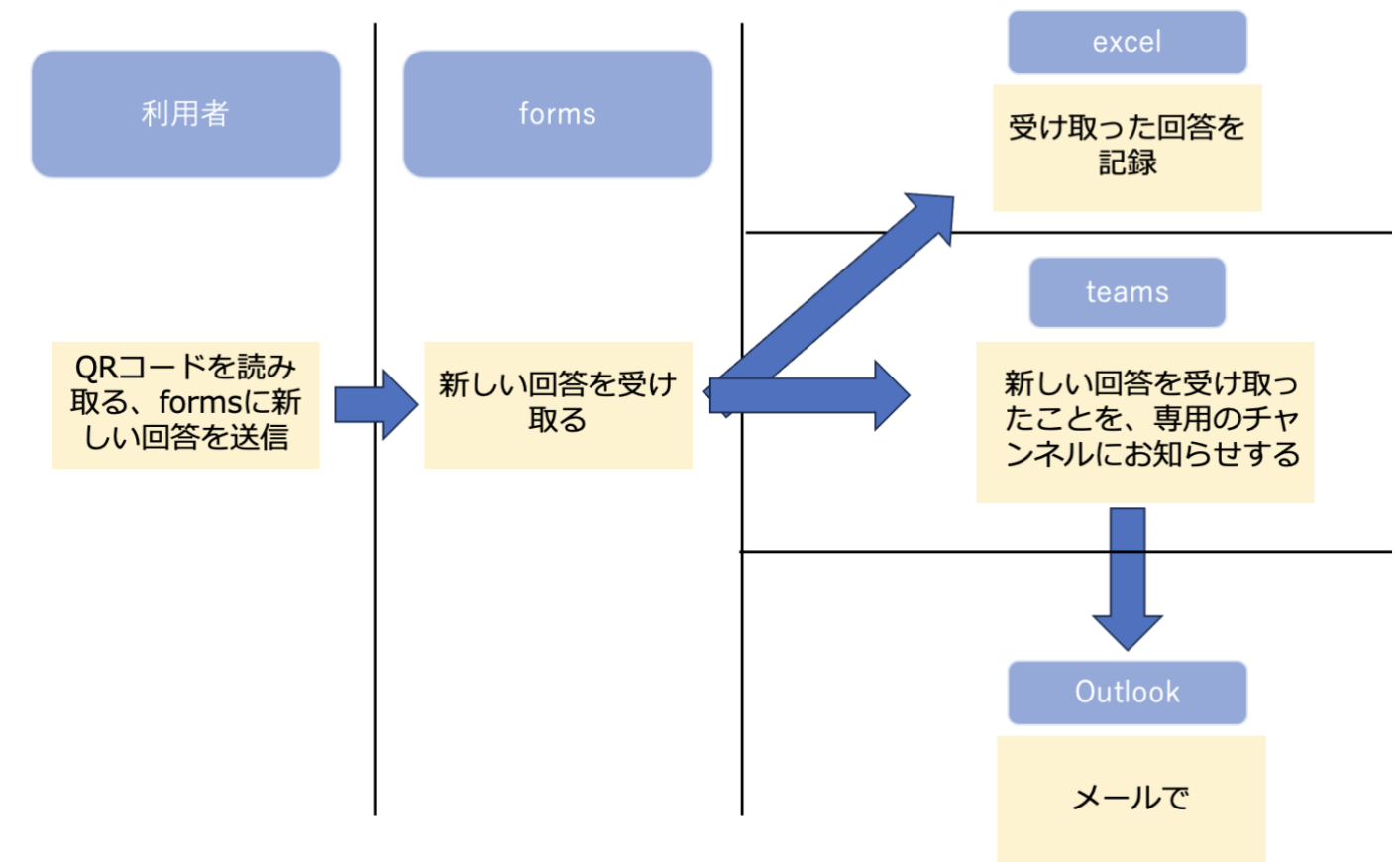
目的

2 月 15 日に行われるシンポジウムで自分のポスターの場所にいなかったとき、forms から teams に連絡を受け取るため

想定利用対象者

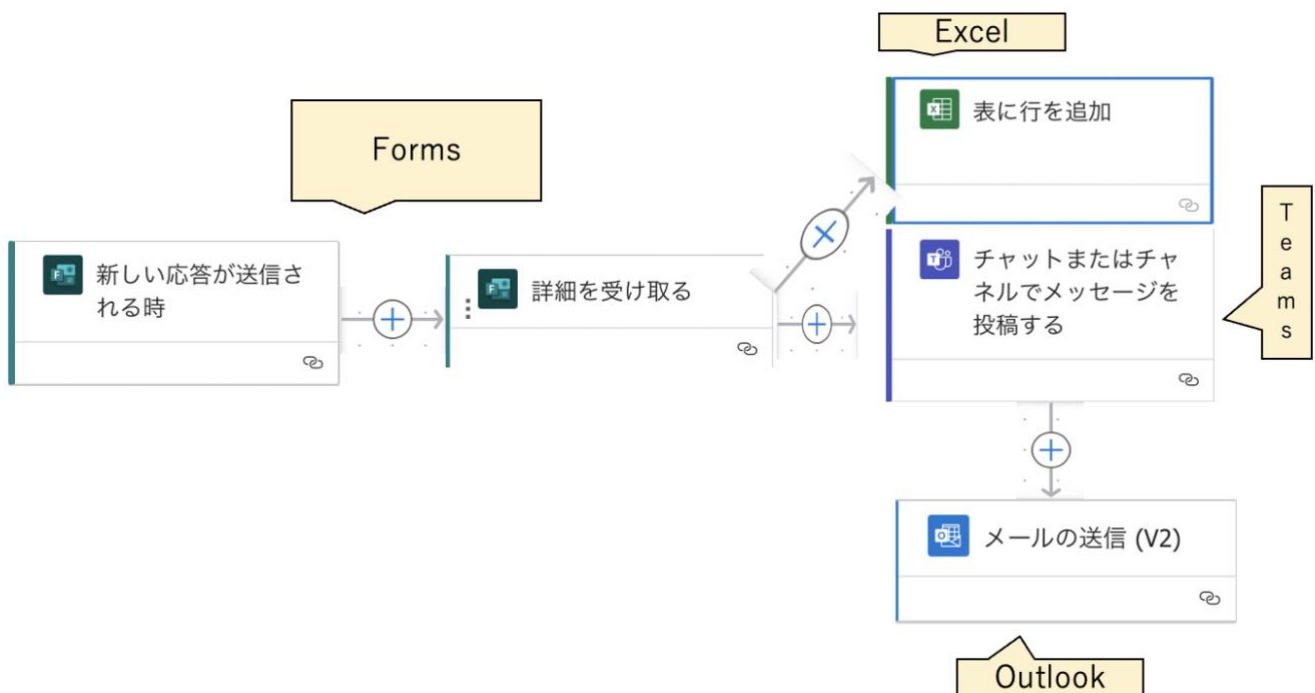
2 月 15 日に行われるシンポジウムでわたしのポスターが気になった人

業務フロー



機能要件

システム構成図



使用外部サービス一覧

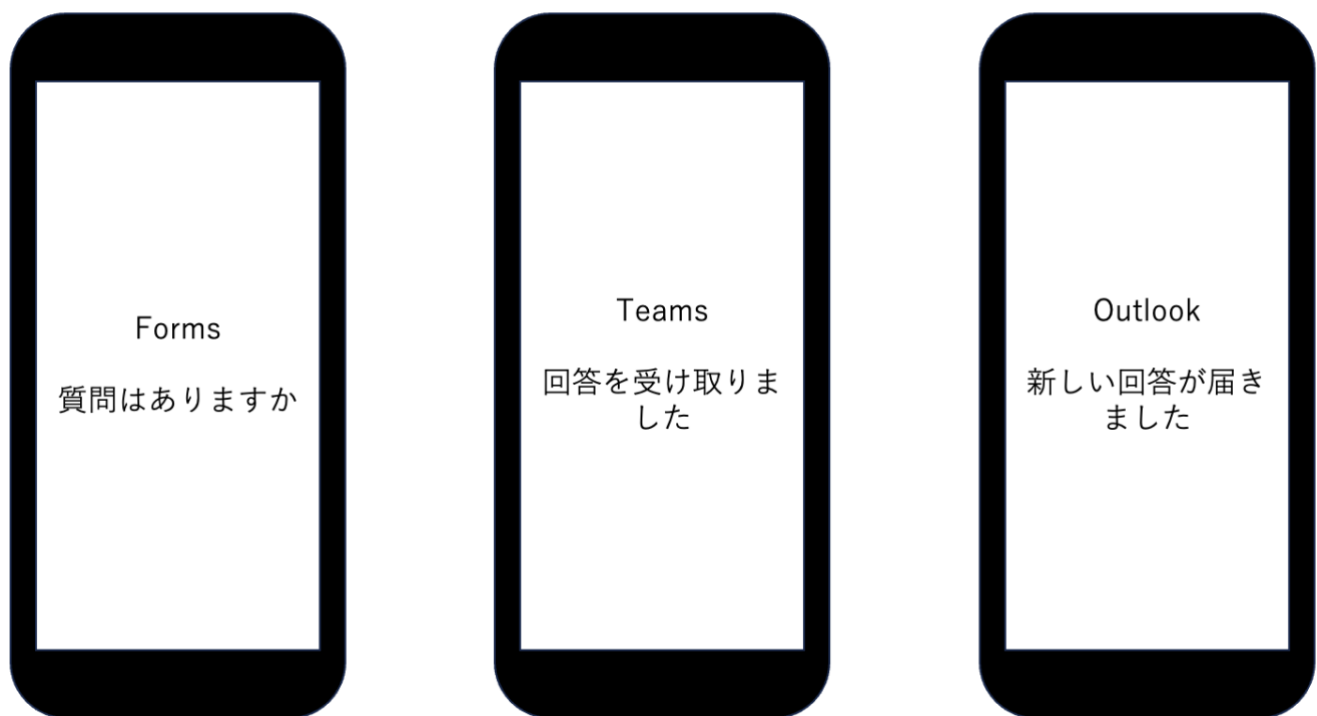
Microsoft Automate, Microsoft Forms, Microsoft Teams, Microsoft Excel, Microsoft outlook

想定画面

画面一覧

Microsoft Forms	情報入力画面
Microsoft Teams	メッセージ受け取り
Microsoft Outlook	新しい回答の送信

画面レイアウト



データ定義（API 開発している場合は必須）

テーブル一覧

非機能要件

拡張性

同じ質問が多かった場合、自動でその質問に対する回答を質問者に返す。

その場合あらかじめ決められたキーワードが回答にあった場合、それを判別する API 連携を行う必要がある

稼働環境

システム側

Mac (iOS バージョン 14.3)

Microsoft365 有料アカウント

利用者側(クライアント環境)

iPhone(iOS17.1)/iPad/Android に対応

保守

送られた回答に関してどんな内容だったとしても、シンポジウムの質問用以外には使用しない